

内啓

大木公水作の便殿より未得の上
中上度執成陽く君より併共此令既出並
此付急務工事大言上仕方

金札市場六十文の定方令取のその
夫の四計法に布告す成風を以て仕方
あり右に執成作由より今迄四五十文の
品は百文に直上あり四五百文の物もあは
沸騰して仕方の必要なる右市場は折合の肉
佃民多量に困甚と文加の融通に度塞り
大に都合正生し下りて請て以来金を得
習浅玉路の換り夫の令取より此札と
令との留に令取の停止を成りて今令を
世上の所札を以て融通止り商賣
休業し度歩起りて一區の新債幣に
こそ未立の得り令札と行方何程と
他におよび工夫する一旦十三ヶ年限に作ら
又百部給ふに付百部^{銀計あり}と布告の上
いふ一此際を夫と成の勅に成りて今日
に令何れも^{新札}新札の民疑惑の上生し
可なり

三思一言九思一行

方おし古語云ふも言ふも熟考
こ上布告を達し仕度不在仕位
不議其政より五表建言に請ふに
り得る第一の参考と申すに初め
仕合より多量罪に惶謹言頓首

五月朔

田中座太郎